

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス門真教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数（放デイ）	(対象者数)	57	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日		2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自立に向けてのトレーニングやクッキング、実験など、さまざまなプログラムを組み合わせることで、利用者が楽しく通所することができる。	同じトレーニングやイベントが連続しないよう、職員で毎週会議を重ねながら月間、または年間のスケジュールを組み、またその内容を話し合っている。	新たに運動療育のための日を設け、放課後等デイサービスの5領域のうち「運動・感覚」領域にも力を入れていく。
2	事業所での子どもの様子を保護者に伝えたり、保護者から学校や家での様子を聞いたり、密にコミュニケーションを取ることで、よりきめ細やかな支援に繋げることができている。	少しでも困ったことや気になったことがあれば、気軽に相談しやすいようLINEを使って保護者と連絡を取りやすいようにし、送迎時等に詳しくお話しできるようにしている。	送迎されない保護者とはお話しする機会が少ないため、LINEを活用しながら適宜電話等も行い、子どもや保護者の状況を把握できるように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が実施できておらず、保護者同士の悩みの共有や交流ができていない。	日々の業務に追われ、保護者会の企画や開催のための時間が捻出できていない。	さまざまなツールを使って事務作業など仕事の効率化を図る。また、保護者会の企画者、ファシリテーターなど担当者を決めて役割分担する。 平日は参加できない保護者も多いと思われるため、早めに日程を伝えたり、土曜日も含めて候補日を決め、よりたくさんの保護者が参加できるようにする。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもとかかわる機会がない。	基本的にトレーニング等は事業所内で行っており、また外出イベントも、初詣やカラオケなど利用者内のコミュニケーションで完結するものが多い。	外出イベントで、地域の催しや児童館に行く日を設ける。